

薬局 Back Number

バックナンバーのご案内

定価 2,200円
(本体2,000円+税10%)



7月号 vol.75 no.8



Hey 薬剤師外来

「外来診療の質を上げる方法を教えて」

「薬剤師外来」では、薬剤師と患者による診療前の面談を通し、副作用やアドヒアランスの評価をし、医師への情報提供・処方提案などを行います。令和6年度診療報酬改定で「がん薬物療法体制充実加算」が新設されたことから、薬剤師の積極的な介入による質の高い薬物療法の提供がますます期待されています。しかし、マンパワー不足、新しい体制の設置などには課題もあります。

そこで、本特集では、さまざまな薬剤師外来実施施設にご協力いただき、薬剤師外来の導入・運営での課題を抽出し、解決までの方策をまとめました。さらに、「がん」に加え「吸入」や「術前」など実際に行われている取り組みを疾患別に解説しています。

6月号 vol.75 no.7



加算算定までつなげる！

外来がん治療の「病-薬連携」

がん薬物療法はさまざまな背景により、入院から外来へとシフトしています。外来で安全かつ効果的に治療を行うには、病院-薬局間の連携がポイントです。この連携は医療コストの削減にもつながる画期的なアプローチで、診療報酬・調剤報酬改定の面からも薬剤師に期待される役割の一つとなっています。

本特集では外来がん化学療法に介入するポイントや注意点、病院から提供される情報の活かし方、薬局から病院へ患者情報をフィードバックするコツなどを解説します。外来がん化学療法の連携に取り組もうと思っている方、すでに取り組んでいてさらにブラッシュアップしたい方に必携の特集です！

5月号 vol.75 no.6



腸内細菌となかよく

生きて腸までとどく薬学管理

整腸薬やプロバイオティクス食品の普及により、腸内細菌は一般の人々にとっても身近な存在です。そのため、整腸薬の使用だけでなく、ヨーグルトや乳酸菌飲料などのプロバイオティクス食品に関する患者からの質問、食事指導、薬剤による腸内細菌叢の変化、腸内細菌が薬剤の代謝に与える影響など、薬剤師が健康や薬剤にまつわる相談で腸内細菌の知識を求められる場面は意外と多いと思われます。

そこで、本特集では、腸内細菌の生態や人体とのかかわりなどの基本から、整腸薬の使い方、薬剤や治療への影響、食事指導など臨床につながる実践まで幅広い内容まとめました。また患者へのアドバイスなど薬剤業務に役立つ内容をQ & Aで紹介しています。腸内細菌を通じて患者の健康を支えるための情報が詰まった一冊です。

2024年4月号 vol.75 no.5

ストップ！CKD「腎臓を守る」包括的な視点

2024年3月号 vol.75 no.3

微量元素 みいつけた

生理作用・疾患・くすりと食品にクローズアップ！

2024年2月号 vol.75 no.2

子どものための ステロイド外用剤のレシピ

2024年1月号 vol.75 no.1

基礎薬学とエビデンスから おくすり比べてみました

2023年12月号 vol.74 no.13

2023年なにあつた？ 今年注目の診療ガイドライン&新薬・新規効能・新剤形

2023年11月号 vol.74 no.12

転ばぬ先の漢方薬 脱・介護！フレイル・ロコモ・サルコペニア対策の新たな一手

2023年10月号 vol.74 no.11

ひとりでもできるもん 薬剤師のものさし

先輩が使ってる評価基準や情報源をまとめました

2023年9月号 vol.74 no.10

めまいを起こす薬・治す薬 原因・症状のおさらい&薬剤性めまいを見逃さない

年間購読、バックナンバーのご注文は、最寄りの書店または(株)南山堂 営業部へお申し込みください。



南山堂

〒113-0034 東京都文京区湯島4-1-11
TEL 03-5689-7855 FAX 03-5689-7857 (営業)

URL <http://www.nanzando.com>
E-mail eigybu@nanzando.com

2026/09/25 15:55:53